

広報むなかた むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページ
http://www.city.munakata.lg.jp/
宗像市公式フェイスブック
https://www.facebook.com/munakata.city
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行: 宗像市
〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1
代表: 総務課
☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242
編集: 秘書政策課広報報道担当
☎0940-36-1055 FAX 0940-37-1242

毎月1日・15日発行

今月の紙面から

平成28年8月15日号

台風へ備えようまずは確実な情報収集、次に迅速な対応を	2
10月から制度が変わります～住宅に関する補助制度～	3
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群フォトコンテスト、「ふるさとから世界遺産を！」	4
小学生読書リーダー、「としょかんへ行こう」	4
盛大な四十四賀行事、「時間旅行ムナカタ」	5
留学生による料理教室参加者募集	5
生ごみ堆肥化で生ごみ減量を	7
インターネット通販の前払いの利用は慎重に!!、「転ばぬ先の杖」	10
熱中症を防ごう!、「健康むなかた21」	11



宗像ユリックスレストラン
リニューアルオープン(5ページ)

1~4	4~5	5~11	12
行政	学びの里	お知らせ	カレンダー

口説き



踊り

太鼓



暮らしし遺産・鐘崎盆踊り

伝統文化が人と地域をつなぐ

8月は各地域で夏祭りや盆踊りが開催されています。鐘崎盆踊りは、平成3年11月に県無形民俗文化財に指定を受けた、他に類のない貴重な伝統文化。今年も浴衣姿、仮装をした踊り手たちが集い、踊ります。

▽秘書政策課広報報道担当 〓(36) 1055
▽岬地区コミュニティ運営協議会 〓(62) 2656

鐘崎盆踊り独特の「口説き」

鐘崎盆踊りは、起源は定かではありませんが、約四百年の間、唄い、たたき、踊り継がれています。海で鍛えた男たちの独特の「口説き」の唄と力強い太鼓の生演

三位一体が魅力

口説き、太鼓、踊りの3つが調和し、三位一体となっており、盆踊りの醍醐味が味わえるといえます。盆踊り振興会の花田頼三さんは、「幼いころから、口伝え、耳伝えで、唄・太鼓・踊りのそれぞれ得意とする人たちが一体となって、織り成すところが良かところで」と、その魅力を語ってくれました。

鐘崎盆踊りは、昔から思い思いにふん装をして踊られていたそうで、今でも職場や同年の仲間たちと仮装をした踊り手が場を盛り上げています。これもまた魅力の一つといえます。先人たちから受け継がれた盆踊りは、老若男女が集まり、人と人、人と地域をつなぐ場となっています。

熱く長い鐘崎盆踊り一緒に踊りませんか

岬地区には10カ所の集落があり、そこにはお釈迦様やお地蔵様などが祭られたお社があります。8月14日から地蔵様の縁日である24日まで10日間にわたり、各集落のお社の前で踊られます。伝統文化の盆踊りを一緒に踊りませんか。

- ▽8月14日(日) = 初盆会
- ▽8月16日(火) = 岬夏祭り盆踊り
- ▽8月17日(水) = 浜の上阿弥陀様盆踊り
- ▽8月18日(木) = 承福寺盆踊り
- ▽8月19日(金) = 平原お釈迦様盆踊り
- ▽8月20日(土) = 中原お大師様盆踊り
- ▽8月21日(日) = 泉福寺お大師様盆踊り
- ▽8月23日(火) = 祓川お不動様盆踊り
- ▽8月24日(水) = 西町お地蔵様盆踊り
- ▽8月24日(水) = 辻元末大日様盆踊り



鐘崎盆踊り振興会事務局長の花田さん

みんなが集まると自然と踊りが始まる

昔は遊戯が何もなくだったので、踊りが楽しみで朝の5時まで踊ってました。みんなが集まり、ご先祖様を敬う。自分が覚えた範囲で楽しく踊る。宗像を出た人も、ふるさとに帰って踊りの輪に加わる。だから鐘崎の人は、毎年「やらにゃならん」とかき立てられて、今も続けています。子どもたちも見よう見まねで踊って、誰でも簡単に踊りの輪に入ることができるのが、鐘崎盆踊りの良かところで



記念誌(平成3年)と口説き集(平成18年)(右から)

鐘崎盆踊り振興会の活動
鐘崎盆踊りの継承・振興は、古くは個人々々でされてきましたが、昭和37年頃から組織的な活動が活発になってきました。口伝えで語り継がれてきたため、話の筋が通らないことも多かった口説きを口説き集としてまとめ、平成3年に文化財に認定されたことを機に記念誌を刊行。現在は、練習会の運営、小学生の育成指導などを実施しています。その他、国民体育大会「スポーツ芸術」(平成2年)、鹿児島県徳之島天城町の町舎落成祝賀会(平成6年)、韓国金海市伽耶文化祝祭(平成24年)、毎年筑前木屋瀬芸術祭で披露するなど、県外、そして海外へとその活動の幅を広げています。

広報報道担当では、常用漢字と新聞用字用語集を基本に、市独自の用字用語を定めて編集しています。電話=☎、ファクス=FAX、メール=✉、ホームページ=HP、フェイスブック=FBとして表記しています。また、市民のみなさんの居住地は、コミュニティ地区名で表記しています。